

保護者の皆様

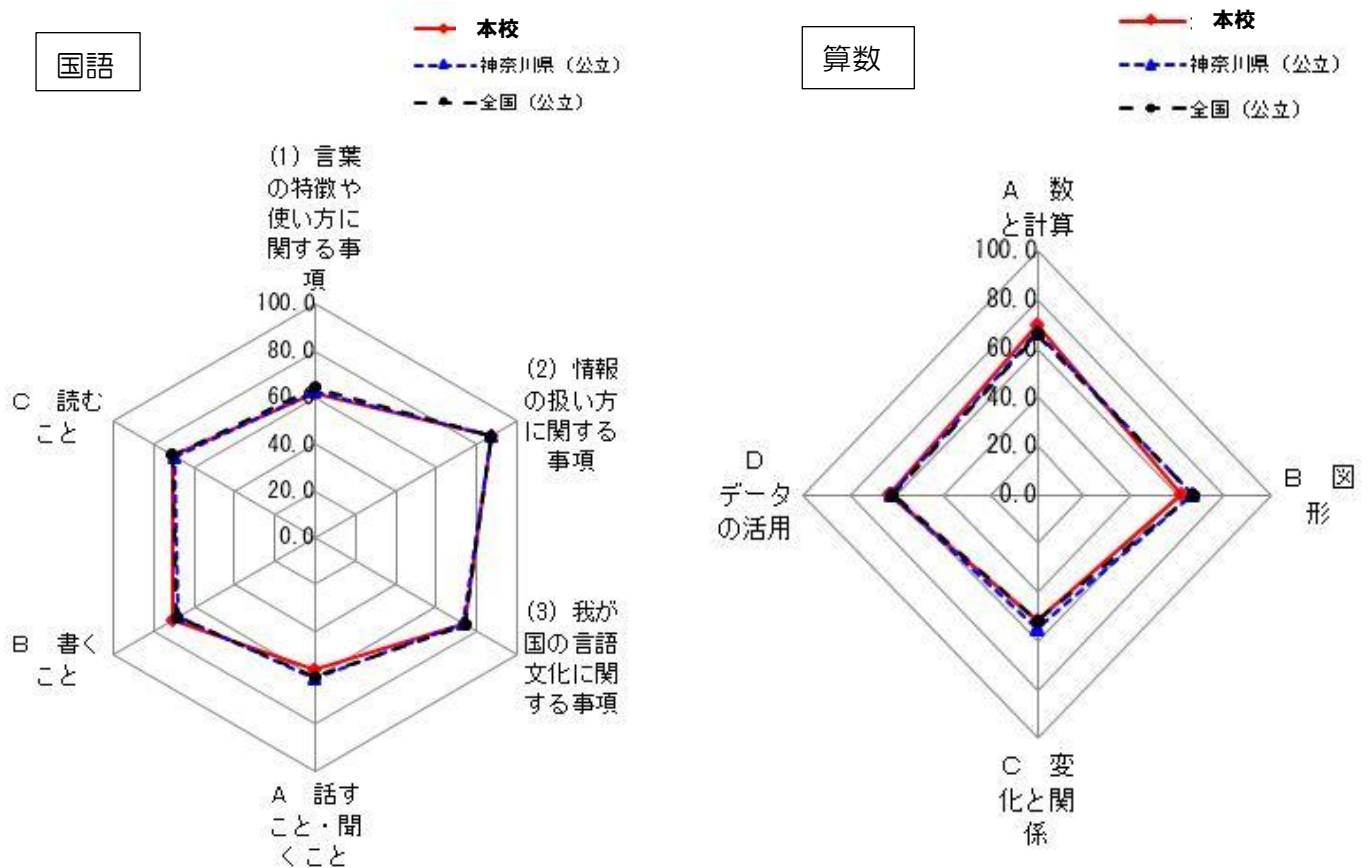
横浜市立南台小学校
校長 柏原 奈保

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

10月に入り南台オリンピックへの活動が本格化し、子どもたちの元気な声が聞こえ学校に活気が出てきました。日頃より本校の教育活動へのご理解・ご協力、誠にありがとうございます。

さて、6年生が4月に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が届きましたのでお知らせいたします。この結果を今後の学習指導や教育活動に生かしていきたいと考えています。

各問題の平均正答率はこのようになっています。



資料より、平均正答率は、国語、算数とも全国（公立）、神奈川県（公立）の値とほぼ同じ傾向にあります。

国語の「書くこと」では、全国、神奈川県の平均正答率を上回る結果となっています。目的や意図に応じて、集めた材料の分類や事実と感想、意見を区別して書くなど、書き表し方をおおむね理解していることが分かりました。一方、「話すこと・聞くこと」では、メモをもとに整理することや話し方を工夫することについて考えることについて課題があると分かりました。

算数の「数と計算」では、問題場面の数量関係を捉え、求める式を考えて答えを出す問題では、全国、神奈川県の平均正答率を上回る結果となっています。一方、「図形」では、基礎的・基本的な知識は身に付いているが、展開図や見取り図を読み取ることや、知識の活用に課題があることが分かりました。

これらの結果から、国語、算数ともに、おおむね学習内容を理解し、知識として身に付けていると考えられます。活用する力や工夫する力については、課題の見られる部分もあるので、引き続き指導してまいります。今後も、本校の重点研究のテーマ「主体的に考え、伝え合い 学び合える子どもの育成」を大切にした取り組みを行っていくとともに、今後も国語科、算数科だけではなく、教科横断的に基礎・基本の学力の定着を図り、もっている力を活用して学習を深められるよう授業改善に取り組んでいきたいと考えています。